

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

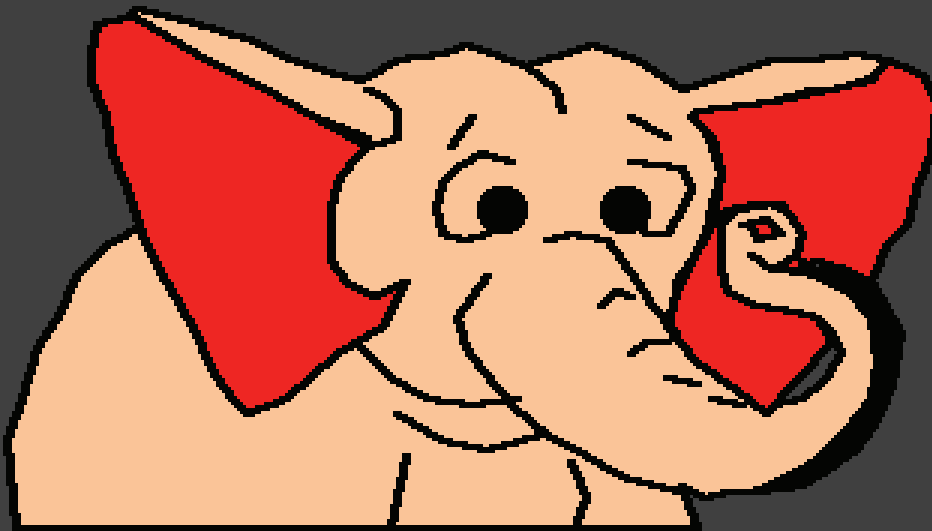
案内いたします

かみ

神さまが、すべてのもの

とき

をつくられた時のこと



^{ぶん}
文: Edward Hughes

^え
絵: Byron Unger; Lazarus

^{かいさくしゃ}
改作者: Bob Davies; Tammy S.

^{ほんやくしゃ}
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

^{しゅつぱんしゃ}
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2009 Bible for Children, Inc.

^{きよか} ^{たにん} ^う ^{かぎ} ^{はなし}
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、
^{また} ^{きよか}
又はプリントは、許可されています。



わたし
いったいだれが、私たちをつくったのだろう。

せいしよ かみ じんるい
聖書、つまり神さまのことばは、私たち人類がどの

はじ おし
ようにして 始まったかを教え
てくれています。



むかし かみ はじ
ずっとずっと昔のことです。神さまは、いちばん初め
なまえ かみ
の人をつくり、アダムと名前をつけられました。神さ
ち ちり
まは、アダムを地の塵からつくられたのです。



それから、アダムに息を吹きかけて命を与え、生か
せてくださいました。アダムは、自分がエデンの園と呼
ばれる美しい庭に置かれていること
に気がつきました。



かみ

まえ

神さまが、アダムをつくられる前のことです。

かみ

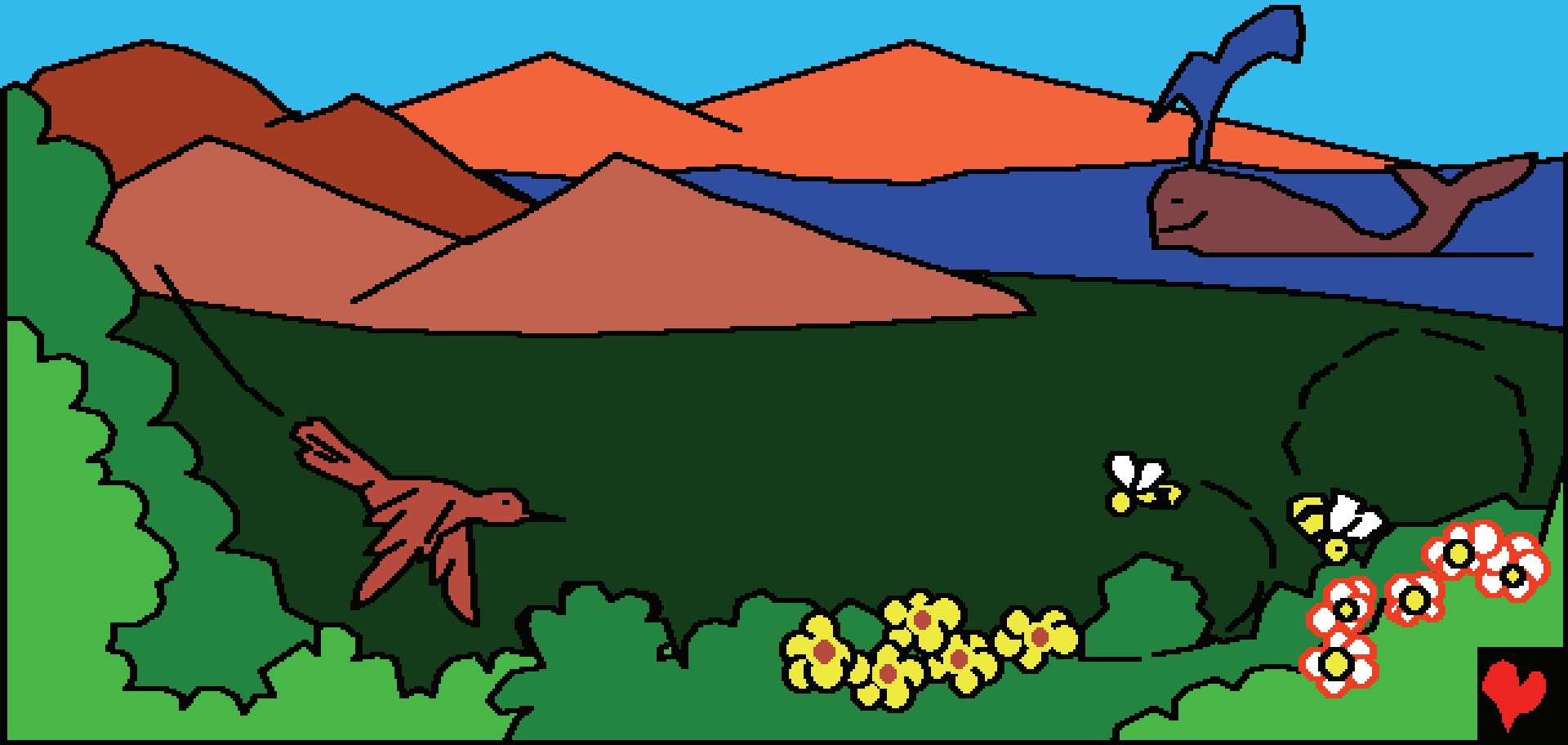
み

神さまは、すばらしいものでいっぱい満ちあふれ

うつく

せかい

ている美しい世界をつくられたのでした。

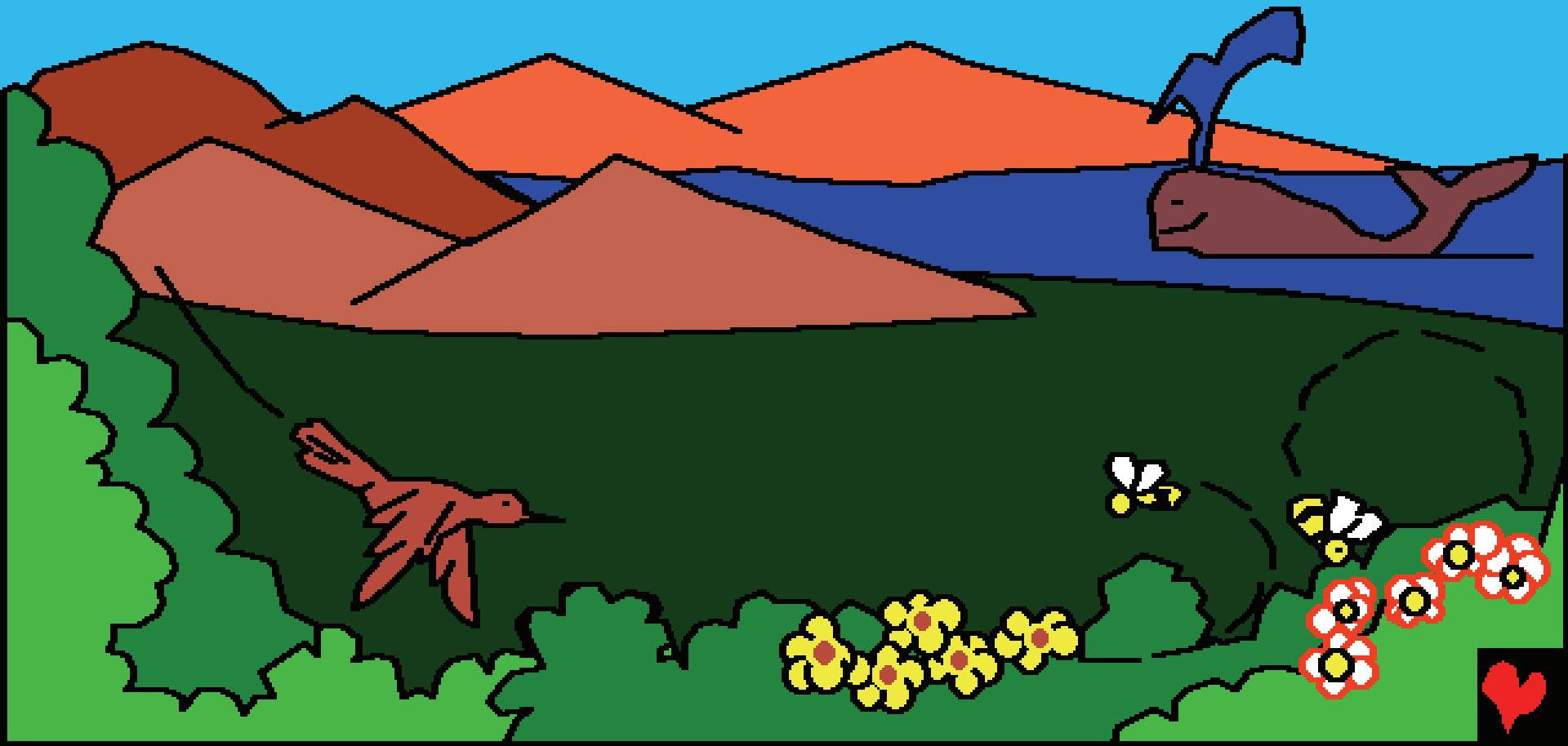


かみ

すこ

すこ

神さまは、少しずつ、少しずつ、
いろいろなものをつくっていかれました。



こ だ か お か ひ ろ そ う げ ん か お は な た か き ぎ

小高い丘や広い草原、香りのいいお花や高い木々、

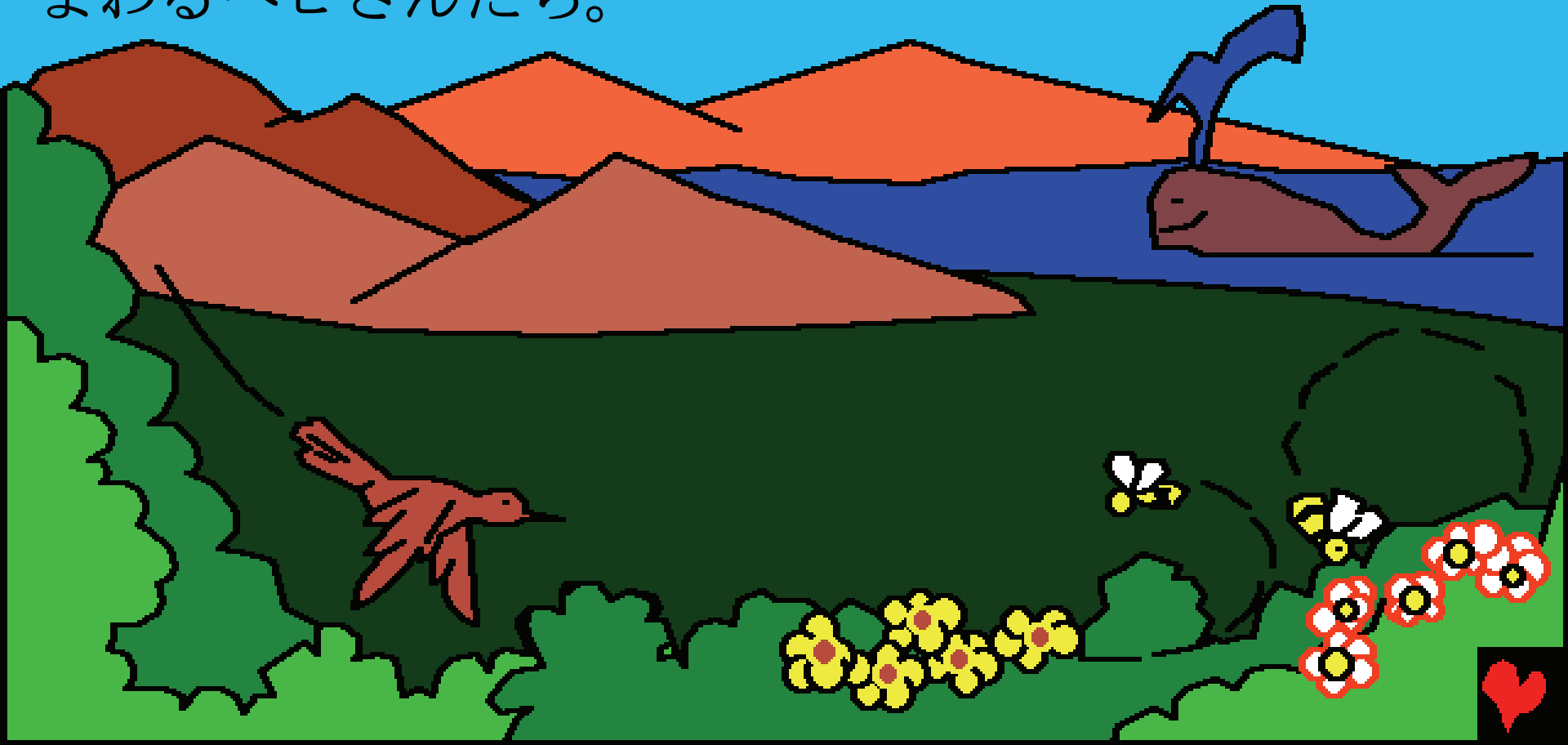
はね ことり

と まわ

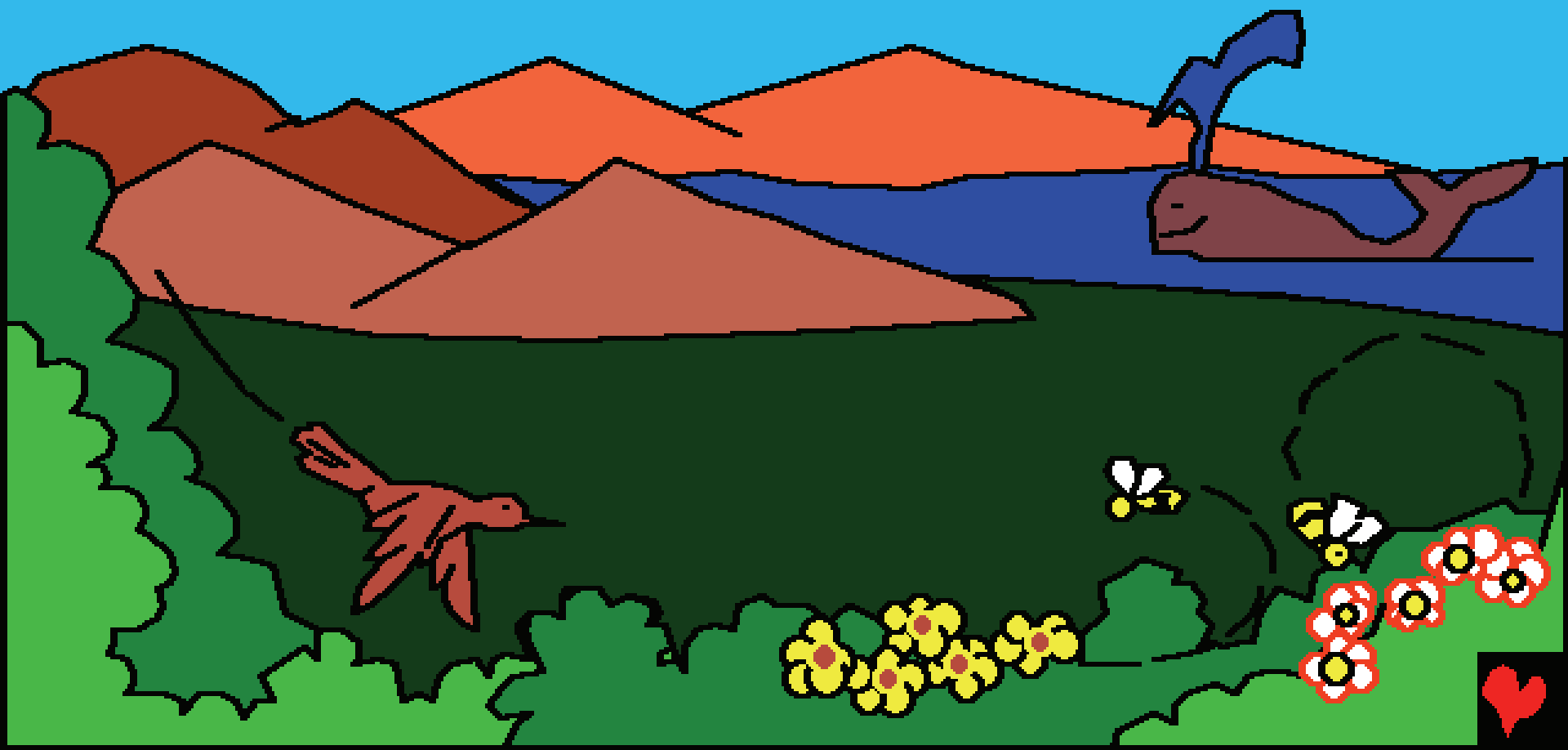
キラキラした羽の小鳥たちやブンブン飛び回るみつば

げんき およ

ちさん、元気に泳ぎまわるくじらさんやズルズルはいまわるへびさんたち。



ほんとうに、そこにあるすべてのものみんな、
かみ
神さまがつくられたのですよ。

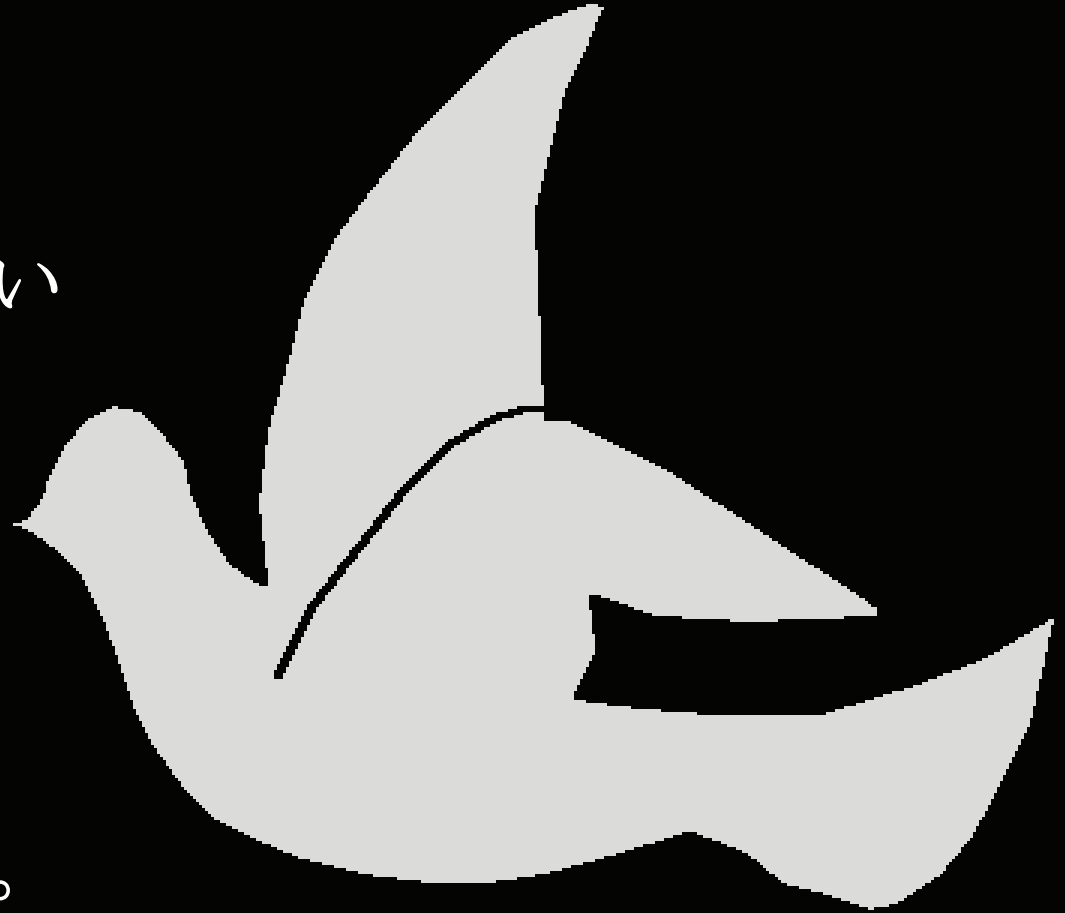


はじ とき
いちばん初めの時、
かみ
そうです。神さまが、
なん
まだ何にもつくられてい
とき
なかった時のこと。

かみ
神さまが いらっし

ほか
やる他は、ほんとう

なに
に何もなかったんです。



ひかり

みず

光もなければ、水もない。

うえ

した

上もなければ、下もない。

きのう

昨日もなければ、

きょう

今日もない。ただ、

なに はじ

まだ何も始めら

かみ

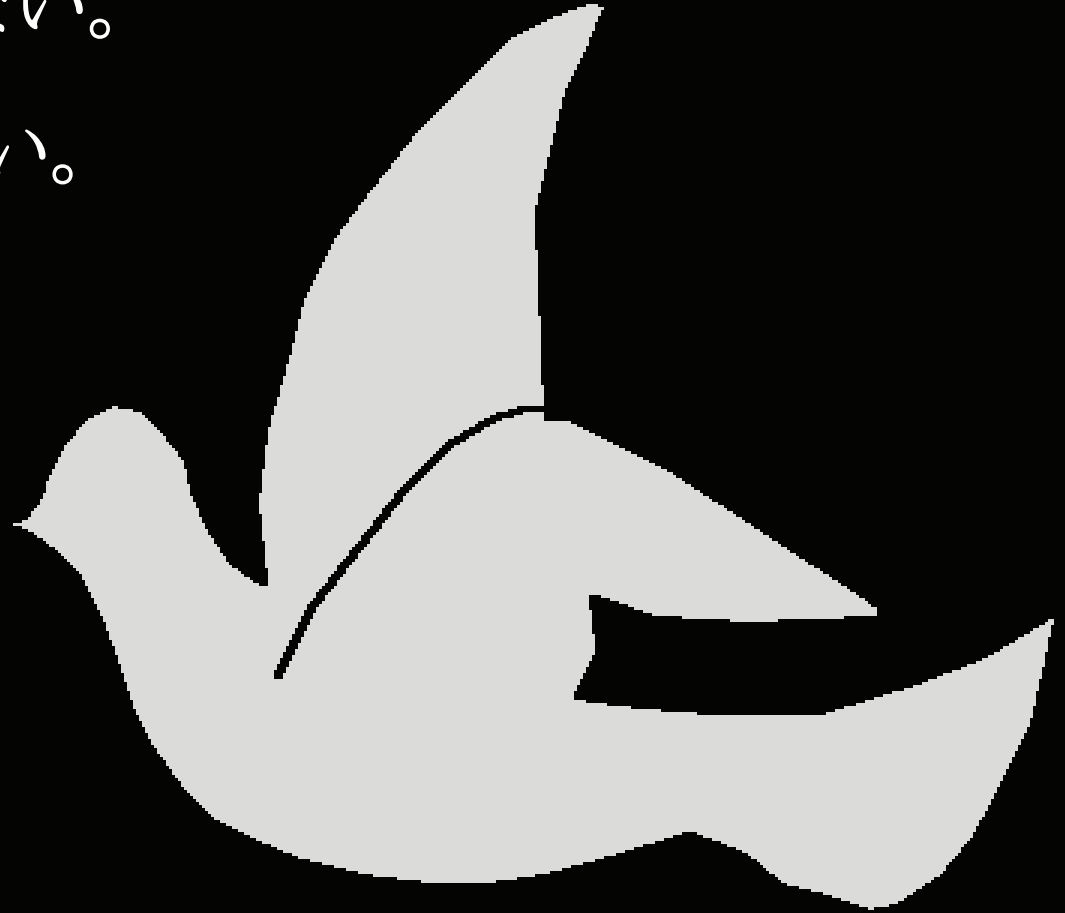
れてない神さまだけが、

いらっしやいました。

それからなのです。

かみ

神さまがつくりはじめられたのは。



はじ かみ てん ち
初め 神さまは、天と地をつくられました。



ち かたち

なに

その地は形もなく、何も
ありませんでした。

まっくら

ただ、真っ暗な

やみ

闇が、どこま

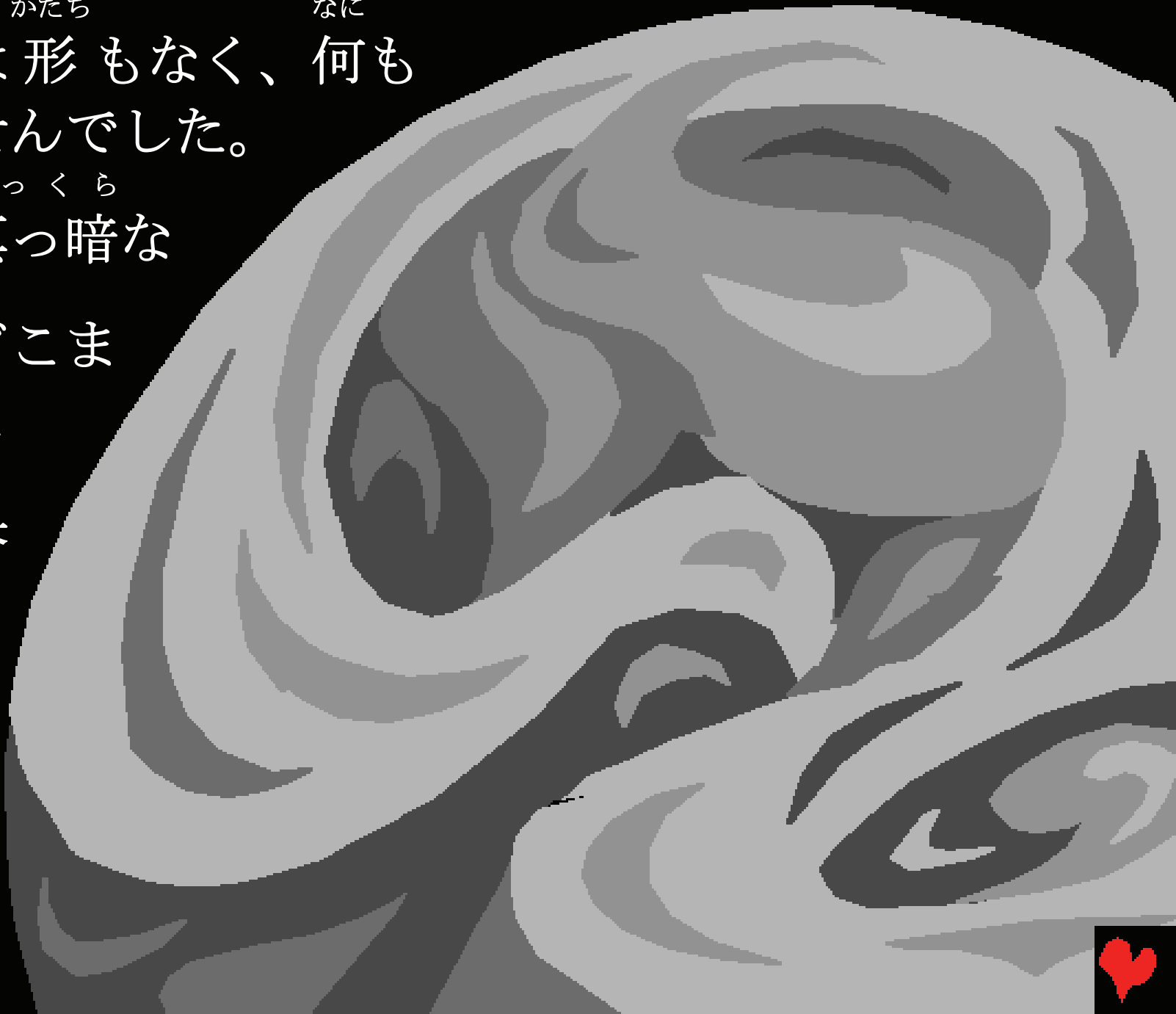
でもどこ

までも果

てしなく

おおっ
ていま

した。



かみ

そこで 神さまは、

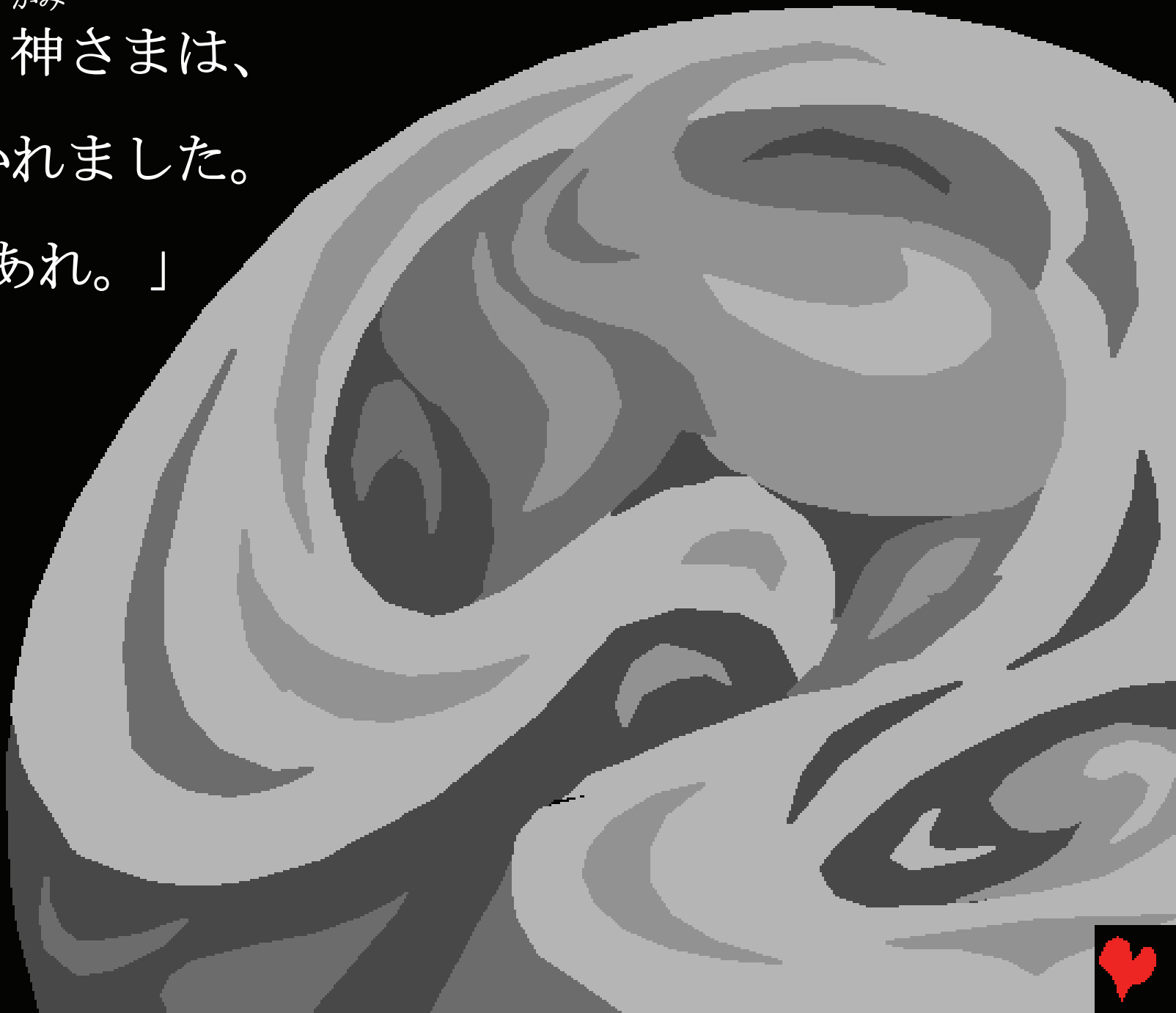
くち ひら

口を開かれました。

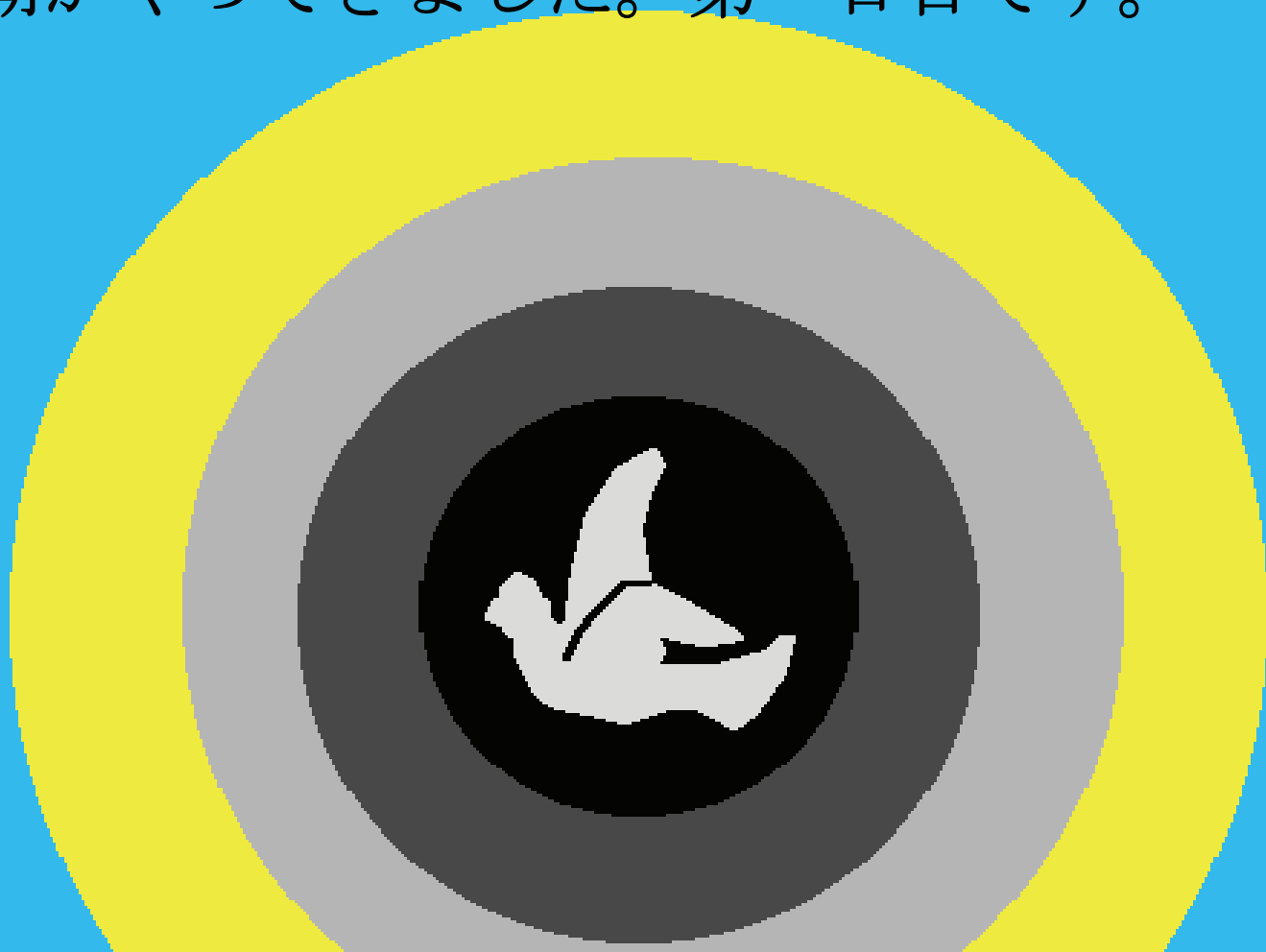
ひかり

「光、あれ。」

と。



すると、なんとまあ ^{ひかり} 光 ^で が出てきたのです。神さま ^{かみ}
^{ひかり} は、光 ^{ひる} を昼、闇 ^{やみ} を夜 ^{よる} と名づけられました。こうして夕 ^{ゆう}
^{あさ} となり朝 ^{だい1にちめ} がやってきました。第一日目です。



ふつかめ かみ みず はこ

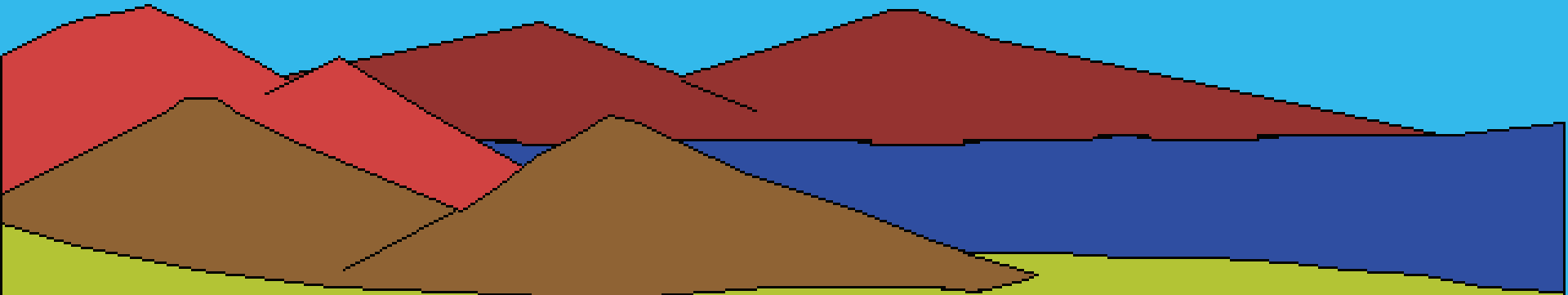
二日目、神さまは水を運んでこられました。それを

おおぞら たいよう うみ みずうみ わ そそ

大空のもとで きちんと太洋や海や湖に分けられ注

みつかめ かみ

がれたのです。三日目、神さまは言われました。



かわ とち あらわ

「さあ、乾いた土地が 現れるように。」と。

そして そのようになりました。



かみ めいれい くさ はな
また、神さまは命令されました。「草や花、
ひく き たか き
そして低い木や高い木が
あらわ
現れるように。」と。



すると、そのようになりました。

ゆう

あさ

こうして夕となり朝がやってきました。

みっかめ

三日目です。



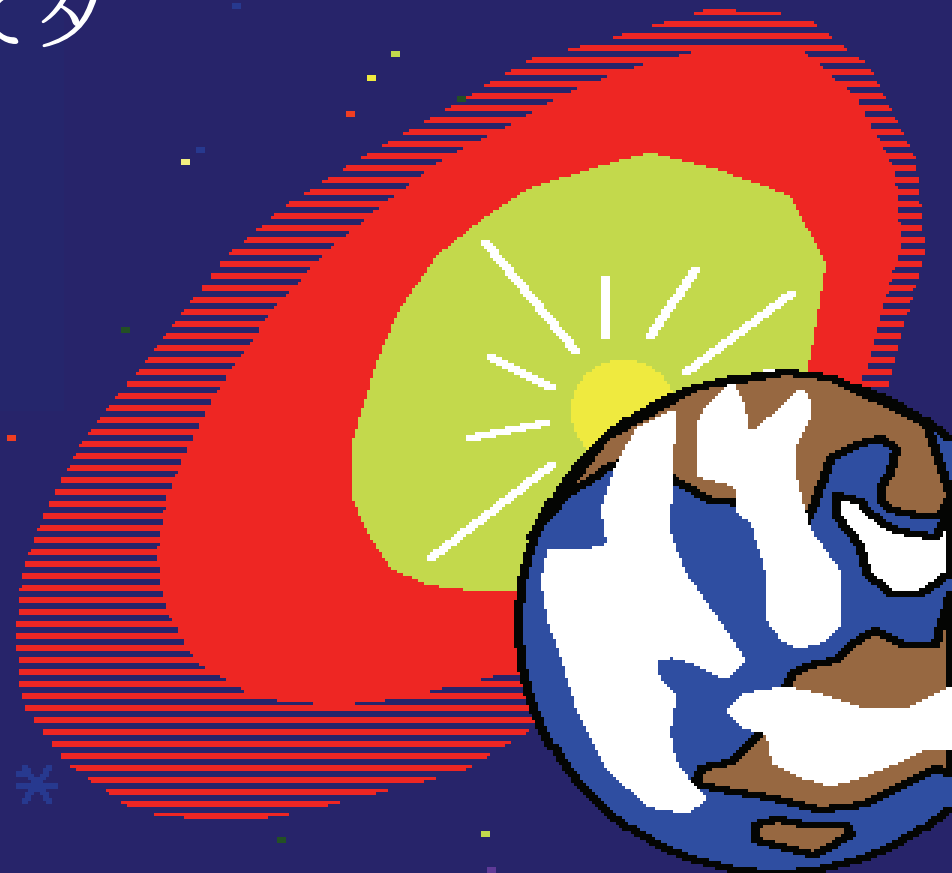
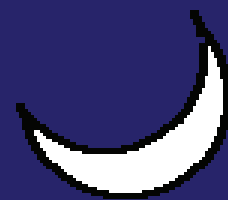
それから ^{かみ}神さまは、^{たいよう}太陽、^{つき}月、

^{かぞ}数えきれないほどたくさん^{ほし}の星

^{ゆう}をつくられました。こうして夕

^{あさ}となり朝がやってきました。

^{よっかめ}四日目です。



かみ つぎ かんが
神さまが次に考えられていた

うみ い もの さかな とり
ことは、海の生き物や魚や鳥
たちをつくることでした。

いっかめ おお
五日目、大きなメカジキや
ちっちゃいイワシのなか
あし なが
またち、脚の長いダチョウさ

しあわ
んやいつも幸せそうにさえ
ずっているかわいいハチド
リたちも つくられました。



さかな みず
たくさんの魚たちが 水の
およ
なかでスイスイと泳ぎまわり、
とり
またいろいろな鳥たちが
たの ち うみ そら と
楽しそうに地や海や空を飛
びまわることができるよう
かみ
にと、神さまは、いっぱい、
なかま
いっぱい仲間をつくられたの
ゆう
ですよ。こうして夕となり、
あさ
朝がやってきました。五日目です。



かみ

くち ひら

そのあと、神さまはまた口を開かれ、

い

い

もの

こう言われました。「さあ、みんな生き物は

ち

どんどんこの地においで。わたしがつくろう。さあ、

しゅるい

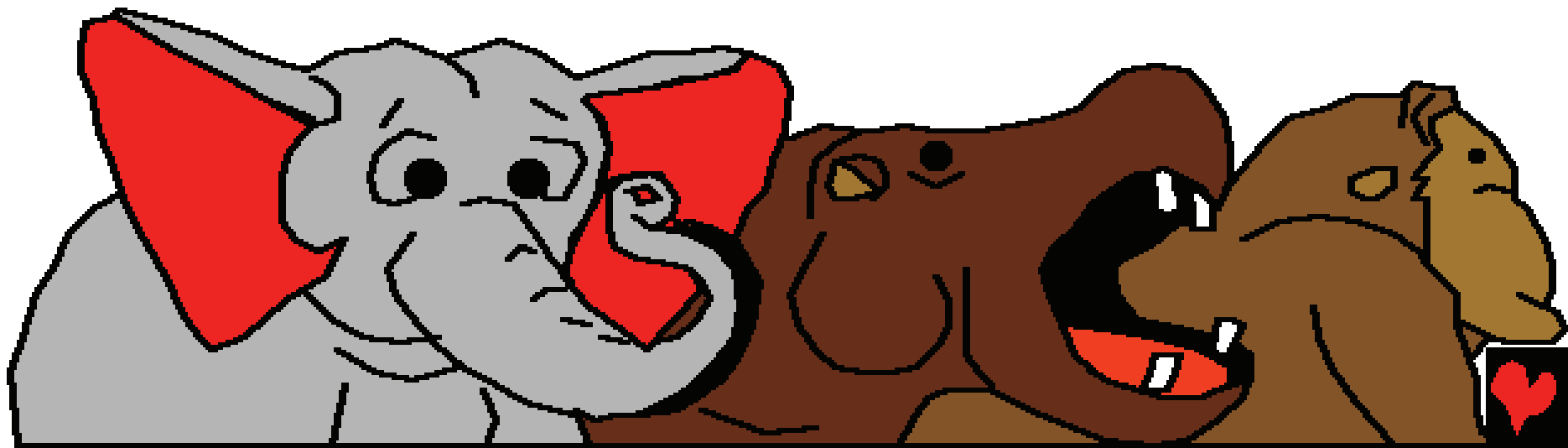
どうぶつ

どんどんおいで。」こうしていろいろな種類の動物や

こんちゅう

るい

昆虫、はちゅう類もやってきました。



じめん ゆ

ドシン、ドシンと地面を揺るがすゾウさん、

いそが

いつも忙しそうなビーバーさんもいます。

ず

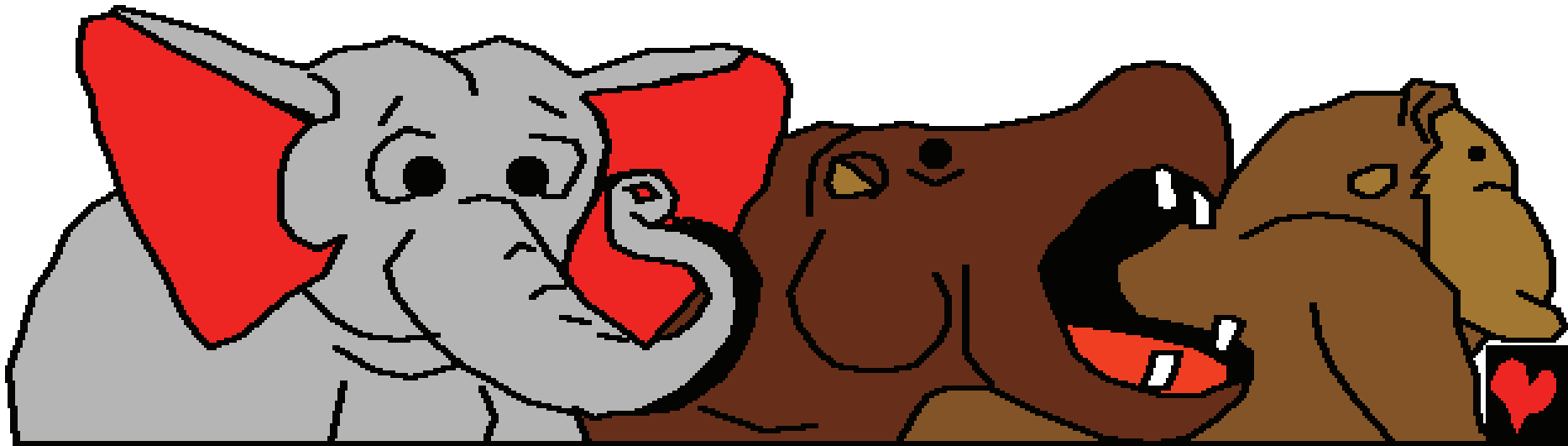
いたずら好きのサルさんやのそのそワニさんも。

き ど

くねくねミミズさんとちょっと気取ったリスさんも。



ひよろひよろしている麒麟さんに、ゴロゴロの
な かみ
どを鳴らすネコちゃんも。ほんとうに 神さまは、
ひ しゅるい い もの
その日にあらゆる種類の生き物をつくられたのでした。
ゆう あさ
こうして夕となり 朝がやってきました。
むい かめ
これが 六日目です。



むいかめ

かみ

なに

ほか

さて、六日目のことです。

神さまは、何か他のこと

もなさいましたよ。そう、何か特別のこと……。今

なに

とくべつ

いま

ひと

はもう、人をつくるための

じゅんび

準備が、すっかりできあがっ

の

ていました。野には、

たもの

かれ

食べ物が、そして彼

つか

どうぶつ

に仕える動物たち

もいました。



かみ い わたし
そこで、神さまは、言われました「さあ、私たちによ
に ひと ち かれ したが
く似た人をつくろう。そして地のものすべてを彼に従

かみ
わせよう。」神さまは、
かみ じしん に ひと
神ご自身に似せて人をつく
かみ
られたのです。神さま
そっくりにつくら
れたのでした。



かみ はな
神さまは アダムに話さ
れました。「アダム、
にわ
おまえは庭にあるものは、
なん た
何でも食べていいんだよ。
ぜん あく おし
でも、善と悪を教えてくれ
ちしき き た
る知識の木からだけは、食
べてはいけない。もし おま
き た
えがその木のものを食べると、
かなら し
必ず死んでしまうんだよ。」



しゅ かみ い ひと ひとり
そしてまた、主なる神は言われました。「人が一人で
いるのは、よくない。さびしいだろう。

わたし かれ なかま

私は彼に仲間をつれてこよう。」

かみ

神さまは、アダムのところへ、

ことり どうぶつ よ

小鳥たちや動物たちを呼びました。



なまえ

アダムは、かれらみんなに、それぞれの名前をつけてあげました。そんなことができるなんて、アダムはきっと

かしこ

賢かったのでしょうか。けれど、

とり

どうぶつ

なか

これら鳥たちや動物たちの中には、

なかま

アダムにぴったりの仲間はみつか
りません。



かみ

ふか

ふか

ねむ

なか

そこで 神さまはアダムを深い深い眠りの中につれて

い

行かれました。そして ぐっすり

ねむ

眠っているアダムから、

ほね

いっぽん

あばら骨を一本とっ

ほね

おんな

て その骨から女

ひと

の人をつくられ

たのです。



かみ

おんな

神さまがつくられたその女

ひと

なかま

の人は、アダムの仲間として

ほんとう

ひと

本当にぴったりの人でした。



かみ むいかかん
神さまは、六日間ですべてのものを

かみ なぬかめ
つくられました。それから神さまは七日目

しゆくふく ひ やす
を祝 福なさって、その日を休みの

び
日とされました。



その つま かみ
エデンの園では、アダムと彼の妻のエバは神
したが しあわ く
さまに従いながら、ほんとうに幸せに暮
らしました。神さまは、二人にとって主で
かみ ふたり しゅ
やしな ちち
あり、養ってくださる父であり、
ともだち
そして友達でもあ

ったのです。



かみ とき
神さまが、すべてのものをつくられた時のこと

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 1 章 - 2 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに
かみ かみ
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを
おも
しってほしいと、思っています。

かみ わたし
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい
かみ つみ つみ
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の
し かみ あい
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい
ひとり こ よ おく
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って
つみ じゅうじかじょう な
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ
てんごく
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい
しん
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください
いま ところ き なか
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に
す い
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

